

きれいな函館をみんなの手で

北海道教育大学附属函館中学校

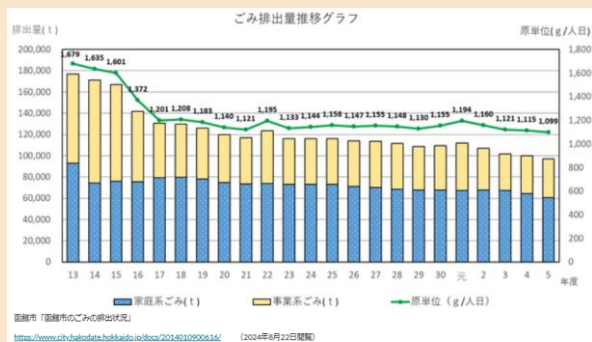
2年 中島舜太 中村琥次郎 澤頭ひまり

私たちは学校の「探究」という授業で、現在深刻な問題となっており、中学生にも身近な環境問題である「ごみ」について追求しました。生徒を対象にアンケートを取ったり、学校の外に出て活動を行ったりしました。その成果をまとめましたので、ぜひご覧ください！

1. 現状

・ごみの排出量

函館市のごみの1人1日あたりの排出量は約1100g。全国平均の880g(環境省報道発表より)と比較してとても多い。また、観光地であるため、観光客が多くごみのポイ捨ても課題となっている。

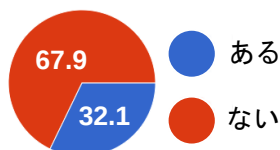


・中学生のごみ問題への意識

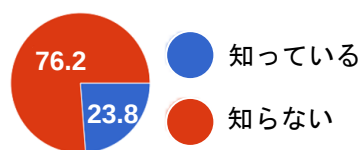
学校内でアンケートを取ったところ、右のグラフのように、ボランティア清掃に参加している人が少ないことや、ごみについての制度を知らない人が多いことがわかった。ごみ問題への意識が低いことがわかる。しかし、各家庭で右のようなごみ減少のための工夫は見られる。

○附属中生を対象としたアンケート

・ボランティア清掃に参加したことはあるか



・集団資源回収を知っているか



・家庭で行っているごみを減らす工夫

○ゴミを小さく、少なくする：21件の回答

- ・燃えないゴミになるようなものはあまり買わないようにする。
- ・使い回す(兄弟で共有、お下がりなど)
- ・再利用できる袋は再利用しています！我が家では再利用を大切に生活しています！
- ・極力生ゴミはコンポスターにいれている

○食品ロスを減らす：12件の回答

- ・野菜の皮はむかずに使う
- ・自分たちで確実に食べられる量の食材しか買っていない。
- ・賞味期限や消費期限が近いものを早く食べて、食品ロスを減らしていることです。

○リサイクルをする：6件の回答

- ・リサイクルに出せるものは出す。
- ・できるだけ分別してゴミを捨てて、リサイクルできるようにしている。

○エコバッグを使う：5件の回答

- ・買い物に行った際に、エコバックを持っていくこと。
- ・シャンプー等の詰替えがある商品は詰替え用を買っている。
- ・エコバックを使用している

○分別をする：3件の回答

- ・袋などは小さく折りたたんで、紙は分別している。
- ・できるだけ分別してゴミを捨てて、リサイクルできるようにしている。

○その他：1件の回答

- ・買わないで自分たちで調達してきたり、もらったりする。(魚、野菜とか。)

対象：附属函館中学校84名

2. 私たちが考えた【理想の状態】と【アクションプラン】

【理想の状態】

- ・市民1人1人がごみ減少に向けて取り組むまち！！
そのために... ①ボランティア清掃をする人が多い。
②リサイクルへの意識が高く、リサイクルに取り組んでみようと思う人が多い。

【アクションプラン】

①清掃活動に挑戦！

函館市で清掃ボランティアを行っている団体の話を聞く。
また、実際に清掃活動を行い、ごみの現状を調べる。

②函館市環境推進課へのインタビュー

ごみ減少に向けて、私たちができることを調査する。

③広報活動

市民や観光客に向けてリサイクルや資源回収・ごみの分別、ボランティア活動の呼びかけをする方法を考える。特に、普段からごみへの情報を目にすることによって、ごみ問題への意識を高めることができるような方法を考えていく。



3. 私たちのアクション！

①ごみ拾いボランティア

大森浜の海岸にて、学生団体「アースデイ函館実行委員会」と協力し清掃活動を行いました。



ごみ拾いをして...
・約30分間で2袋分
・大きいものから小さいものまで様々なごみが。
・プラスチックトレイなどのプラごみが多い

②シーグラスで作品作り

アースデイ函館実行委員が実施している活動をヒントに、私達も大森浜の海岸で拾ったシーグラスや貝殻を活用して、写真立てを作成しました。

シーグラスには様々な形があり、写真立てを作る際にはその形に合わせて配置を考える作業が特に難しかったです。



③函館市環境推進課へのインタビュー

Q.ごみの減少に向けて私達ができること

A.リサイクルできるものを分別する

Q.焼却炉停止（右上にも記載）に向けて、

私達は何をするべきか

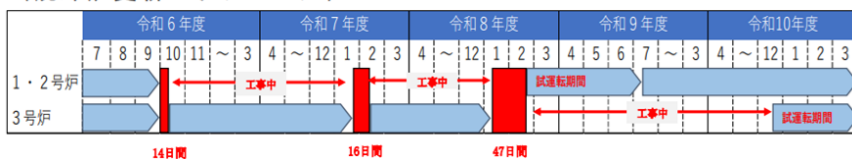
A.プラスチックごみなど腐らないものは家で保管しておき、停止終了後に捨ててほしい

Q.ごみ減少のための制度などはあるのか

A.新聞や雑誌を回収する「資源回収」や図書館に設置している回収ボックスを活用してほしい。

〇日乃出清掃工場整備工事に伴う可燃ごみの処理について

〈焼却炉更新スケジュール〉



※ 全ての焼却炉が停止する期間

日乃出清掃工場整備工事に伴う可燃ごみの処理について

https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2024010500020/file_contents/0130-02.pdf

函館市の日乃出清掃工場は現在老朽化しており、修復には一定の期間が必要です。このため、修復期間中はごみの受け入れができない状況となっています。

4. 私たちの提言！

今回の取り組みで知ったことや感じたことを基に、以下のような課題の解決策を考え提言します！

提言

SNSアプリを活用したごみ拾い推進

①SNSアプリで自分たちの活動を発信！

→自分たちが行った清掃活動を投稿し、他の人に見てもらえるようにする。

②函館市で清掃ボランティアに参加すると、

市から独自の景品がもらえる！（ごみ袋等）

→清掃活動をしたと思えるようにする。

②ごみ減少やリサイクル情報の周知！

→ごみやリサイクルについての情報を掲載して、資源回収などを活用する人を多くする。

函館市がきれいなまちになるためには？



5. まとめ

今回の探究を通して、ボランティア清掃に参加した人が少ないことやリサイクルや資源回収の仕組みについて知らない人が多いことがわかった。

このことから私達は様々なアクションを起こし、それらの活動を通して次のようなことを考えました。それは、1人1人がごみ問題に向けて、意識を高め、ごみ拾いを「しやすい」「したい」と思える広報活動を作ることが大切ではないかと考えました。

特に、SNSアプリなどを通して行ったことを発信することで多くの人に取り組みの様子を知ってもらったり、活動したことに特典をつけたリ、リサイクルの情報が簡単に手に入るなど、市民が楽しみながら継続して活動することができるよう取り組みが必要だと考えます。

これらの取り組みを通して、函館市民が自発的に活動し、楽しみながら社会貢献を続けることができるようになれば良いと考えます。

